

心に届く 信心真話

不安の中での自宅介護



家族の絆強めた大切な時間

私

の母は、脳梗塞（こうそく）で倒れて以来、認知症の症状が出始め、台所にある物を見境なく口に入れるなど、目が離せなくなってきました。

園児を抱えながら、母の身の回りの世話をする毎日が続く中で、次第に疲れ果てていきました。ご用と介護と育児を並立させることの大変さは覚悟していたものの、現実には想像をはるかに超えたもので、そうした日々

に当たったりと、後から「何であんなことを言っただろうか」と、次第に疲れ果てていきました。ご用と介護と育児を並立させることの大変さは覚悟していたものの、現実には想像をはるかに超えたもので、そうした日々

の दौरान、いろいろな思いが頭の中を巡り、決断できずにいたのです。私は思い切って、妻に病院の先生から老人保健施設を紹介されたことを伝え、どうすればいいか決心がつかないと話しました。

母さんに助けてもらった分、今度はお母さんのために、家族が一つ心になつてお世話をさせて頂こうと思う」と言い、子どもたちに向かっても「おばあちゃんは今、病気が闘っているから、元気になるように、みんな協力してね」と頼みました。

それからは、長男が弟たちの面倒をよく見てくれるようになったり、家の中の手伝いを子どもたちなりに一生懸命してくれるようになりました。その姿に、私たちが夫婦はどれほど勇気づけられたことでしょうか。

そうした日々の中、母はじくなりました。あれから五年。あの介護に追われた苦しい日々を振り返ると、母がその身をもって、私たちが夫婦と子どもたちを育て、家族のぎすぎやを強くしてくれた大切な時間だったと、今では思えるのです。

そ

んなある日、母が脳梗塞を再発して入院しました。一命は取り留めたものの、右半身不随という後遺症と共に認知症がひどくなり、言語障害までも起こってしまいました。病院の先生からは、この状況での自宅介護は無理だということ、老人保健施設を紹介されました。

私は、母を家に連れて帰りたいという思いと、小さい子どもを育てながら、症状が悪化している母の介護が果たしてできるだろうかという不安のはざま、悩み苦しみました。

また、自宅介護には妻の協力が不可欠で、妻はそれを受け入れてくれるのだろうか、いろいろな思いが頭の中を巡り、決断できずにいたのです。私は思い切って、妻に病院の先生から老人保健施設を紹介されたことを伝え、どうすればいいか決心がつかないと話しました。

すると妻は、「連れて帰るのは当たり前やないの。家に連れて帰らなかつたら、一体どこへ行くの」と、きっぱりと言ってくれたのです。予想外の言葉に、驚きとうれしさが込み上げてきました。その一方で、以前のように入浴介助やトイレ介助がなくなり、互いを責め合う日々に戻るかもしれないという不安を抱いたことも確かでした。

あれから五年。あの介護に追われた苦しい日々を振り返ると、母がその身をもって、私たちが夫婦と子どもたちを育て、家族のぎすぎやを強くしてくれた大切な時間だったと、今では思えるのです。

※このお話は実話をもとに執筆されたものですが、登場人物は仮名を原則としています

次号の予告 8月3日号

クローズアップ人 (1面)

絵本作家 **長野 博一**さん

数々のロングセラー絵本を生み出してきた長野さんが、「世界の親と子の立ち行き」を願いながら、絵本作りに心を尽くしてきた今日までの歩みを語る。

INFORMATION

全国青年教師集会在四国

- **テーマ** 祈りのゆくえ—高知の祈願所と札所から考える
- **日時** 9月11日（木）正午～12日（金）午前11時

- **場所** 高知教会・竹林寺ほか（高知市）
- **プログラム** 講話、遍路体験、懇談、懇親会など ※遍路体験では歩きますので、適した服装でご参加ください
- **参加費** 5千円（宿泊費、懇親会費込）
- **申し込み締切** 7月31日（木）
- **申し込み先** 高知県窪川教会内「全国青年教師集會事務局」谷口浩志まで TEL・FAX 0880-22-0578（窪川教会）、携帯 TEL 090-9967-8188（谷口）

「金光新聞編集室」のEメールアドレス kses@konkokyo.or.jp

金光新聞杯ソフトボール全国大会 ファイナル 協賛のお願い

全国の青年信奉者が、スポーツをとおして交流を深めていくことを願って、今年も金光新聞杯ソフトボール全国大会が開催されます。つきましては、大会をいっそう充実したものとするために、ご協賛をたまわりますよう、お願い申し上げます。

《大会実施要項》

主催 金光教本部教庁、金光教徒社
 開催日 平成20年9月13日(土)～14日(日)
 試合会場 浅口市寄島新運動公園(予定)
 参加者 全国の信奉者19チーム、約350名参加(予定)

お申し込み・お問い合わせは
金光教徒社 事務局
 〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷338
 TEL 0865-42-2037 / FAX 0865-42-5087

《内容》

- 協賛広告掲載
 『金光新聞』9月7日号ちらしと、参加者に配布する「参加のしおり」に、協賛広告を掲載いたします。
- 協賛広告サイズ・料金（税込み）
 A ﾀﾝ 6.6cm×30 3.0cm 16,800円
 B ﾀﾝ 3.3cm×30 6.0cm 16,800円
 C ﾀﾝ 6.6cm×30 6.0cm 33,600円
 D ﾀﾝ 6.6cm×30 12.0cm 54,600円
 E ﾀﾝ 6.6cm×30 24.5cm 94,500円
 ※これ以外の協賛金や、副賞用の品物でも結構です。
- 申し込み方法
 金光教徒社事務局までご連絡ください。申込書をお送りいたします。お支払い方法など詳しいことは、申込書に記入しています。
- 締切 8月22日(必着)

いつも金光新聞をご愛読いただきありがとうございます

「金光新聞」は現在、9月からの新規購読を受け付けています。部数や住所の変更、中止も、9月分からは可能です。

「金光新聞購読の契約は、自動的に継続してまいります。購読料が切れても購読中止にはなりませんので、部数の変更や中止の場合は必ずご連絡ください。

お申し込み・お問い合わせは **金光教徒社**へ

あいはげよの生活運動

願 い

わが心の神にめぐみ
 祈り、対話、行動をもって
 神を現す生活をすすめ
 共に助かる世界を生みだそう